

# 令和4年度 第1回健康づくり推進協議会

## 議 事 要 旨

開催日時：令和4年12月1日(木)午後1時30分～午後3時

開催場所：笛吹市役所 本館3階 302会議室

出席者：太田委員、馬場委員、桜井委員、篠原委員、若杉委員（代理出席）  
内藤委員、石原委員、森委員、古屋委員(和)、村松委員、星合委員  
雨宮委員、深沢委員

欠席者：近藤委員、蘆田委員、小林委員、竹内委員、早川委員、古屋（速）委員  
中村委員

傍聴人：1名

事務局：坂本健康づくり課長

健康づくり課 健康企画担当2名、成人保健担当3名

介護支援課 長寿支援担当1名

子育て支援課 母子保健担当1名

【進行：坂本健康づくり課長】

### 1 開会

この協議会は、市民の健康づくりを総合的に推進するために設置されている。設置要綱の第2項には、総合的な保健計画に関すること、健康づくりの啓発普及に関すること、健康づくり推進のための関係機関・団体の協力確保に関すること、その他市民の健康づくりの目的達成に関することについて協議することとされている。

委員の総数の過半数の出席をもって成立することとされているが、本日20名の委員中13名の出席でありこの会議は成立となる。

この会議は公開が原則とされているため会議録をホームページで公開することの了承をお願いする。

### 2 委員の紹介

委員、事務局職員自己紹介

### 3 会長あいさつ（太田会長）

実りのある議論ができる会となるよう協力をお願いする。

この会は、市民の健康づくりのために学校関係者からシルバーの年代まで幅広い方々に集まっただけに、日頃の活動の中身を報告し合い総合的に推進できるように意見交換や情報共有を行っていただけるよう皆さんの協力をお願いする。

### 4 協議 【議長：太田会長】

(1) 第2次健康増進計画の取組みについて

- ア 第2次健康増進計画の位置づけと推進体制（健康企画担当）
- イ 健康増進計画についての取組み（成人保健担当）
- ウ 母子保健計画についての取組み（子育て支援課 母子保健担当）
- エ 食育推進計画についての取組み（成人保健担当）

各担当より資料に基づき説明後、委員からの質疑応答を行った。

【質問意見等】

- 議長 学校の様子はいかがか。
- 委員 本校では環境づくり部会で朝食や欠食についてのアンケート調査を行いクラスごとに集計し、個別懇談で話題にすることでよい効果が出ている。今後内容を検証、検討し活用していきたい。
- また、SNS等に関しては、市の外部機関が来校し親子で学習する機会があり家庭での関わり方が変わってきている。
- 議長 質問や意見をお願いします。
- 委員 歯科関係の報告によると歯科検診受診率が低めなことが気になるが、チラシの配布等啓発活動を行っているようなので今後も引き続き取り組みをお願いしたい。
- 60歳で24本以上歯を有する方が増えていることはよいが、70歳以上での歯科検診の必要性があり、受診率をもっと上がるとよいと思う。
- う歯の無い3歳児が増えていることは大変良いことであり、市の取り組みが数字に表れている。ただ個人差もあるため、歯科衛生士がブラッシング指導をよく行ってくれているが、今後ともよろしく願います。
- 事務局 引き続き歯科検診についての受診勧奨の強化や広報活動に取り組んでいく。今後ともご協力をお願いします。
- 議長 食育の面からも歯は大切だと思う。
- 委員 10月の広報に歯科検診受診の勧奨記事が載っていた。せっかくの機会なので多くの方に受けてほしいと思う。今予防歯科がクローズアップされており、高齢者になる前の歯周病菌の体への影響について踏まえ、今後の指導の必要性を感じるとともに、できるだけ受診をしてほしいと思った。
- 来年度歯科医師会より国に国民皆検診の要望を出すと聞いている。大変なことだと思うが、そうなった場合には市でも導入を行ってほしい。
- 議長 歯は虫歯になってから行くといった考えの方が多いのではないかと。
- 委員 最近では、定期検査などの予防も多くなってきているが、基本的には悪くなった場合が多い。
- 議長 これからは広報により予防や歯科検診の重要性を啓蒙するとともに外れている方を取り込んでいく必要がある。引き続き取り組んでほしい
- 委員 大学生などに課題がある。

委員 乳児健診の未受診率について、令和 2 年度から 4 か月健診が委託医療機関での健診となったため受診率が低下している。4 か月健診はとても大切だと考える。市での健診は、親同士のネットワークづくりにも良い影響があると考えている。今後、委託から市に変更する予定はないのか。今後の方向性を伺いたい。

事務局 4 か月健診委託の理由は、コロナ禍においても検診を止めてはならないということから法定健診を優先する中で苦渋の判断だった。今後コロナの終息状況により健診 1 回の対象人数を増やせることが可能になれば、どこかの健診が再開できるかと考えている。4 か月健診の重要性は認識しているが、誕生日前の発達状況の評価や、離乳食指導のため 10 か月の健診を先に再開させた状況にある。受診券を使っての受診率は以前に比べて低い。他市のかかりつけ医での個別の健診や妊婦検診と併せて小児科や小児科内科を受診している方もいるので実際はもう少し多くの受診がある。検診を受けてない子供についても保健師が訪問等により様子の把握を行っている。母親同士の交流の場については課題だと感じている。

委員 なるべく地域の愛育班活動では、心配事があった場合は保健師に相談するように勧めている。地域によって愛育班がないところもあるため、全ての地域できめ細やかな活動ができないが、その必要性を感じているため理解をお願いしたい。

議長 最近ではネット依存の子や親が多いとのことで、山梨県愛育連合会として勉強会を予定している。

委員 愛育班がない地域があるのか。

議長 併せて現在は、個別に訪問することは難しい。

委員 地域での様々な層への健康活動はいかがか。

議長 できることは行っている。各地域においては愛育班の方や民生委員などが重層的に何らかの関わりを持つようにしている。

委員 最近では、支所機能が縮小されてきている。活発な地域活動のために支所機能の強化を望む。

委員 子育てに関係する世帯員として、祖父母世代がある。母子手帳などの内容も改定されてきているため祖父母への子育てに関する教育は大変重要となってきた。

議長 学校としてはいかがか。

委員 大人が把握できる SNS と子供しか知らない世界があるなど、様々な問題がある。依存症などの問題も起きているとともに親子の関係も変わってきている。

委員 祖父母の教育については、初めての孫について「じじばば教室」を開催している市もあると聞いている。

委員 子供たちは家のことを全て背負って学校にきている。家庭の状況により格差があり、子供たちも大変な思いをしていると実感している。

委員 産前産後ケアセンターでは、助産師会主催により「孫育て講座」を実施し

ている。市内にある施設なので市でもコラボしてみたいか。母親は姑にこそ出席してもらいたいが直接言うことができないなどの問題があるため、市として何かタイアップしてもらえるとありがたい。

議長 がん検診とか病気についてはいかがか。  
コロナ禍にもかかわらず検診業務を頑張ってもらっている。検診は基本なので更なる広報等を行い、より多くの方に受けてもらいたい。

委員 胃がん検診の具体的な検査方法は。  
事務局 集団検診ではバリウム検査だが、51歳から74歳までの奇数年齢の方は個別検診で内視鏡検査も選択できる。

議長 市内には消化器系の開業医の方が多いのもっと活用してもらいたい。  
委員 特定健診受診率の向上について公共機関や医師会等を通しチラシを配布し未受診者にも通知するなど取り組んでいるようだが、勤務時間が不規則な旅館関係者の方が気になる。観光産業との連携など、旅館組合や商工会などと協力し合い受診率の向上に努めたらいかがか。

事務局 今後、商工会などにもチラシ配布等の協力をお願いしていきたい。  
委員 多くは協会けんぽであり、年2回の健診を行っている。従業員には事業主から周知しているとは思えるだけ協力していきたい。

議長 いろいろな機会を通して受診率アップにつなげていってもらいたい。

## (2) その他

事務局よりコロナについての県からの協力要請について、ワクチン接種について、薬品や検査キットの用意について等の情報提供。

議長 学校の様子はいかがか。

委員 学校では行事が実施できないなどの様々な制約がある。

委員 給食はいまだに黙食であり、前を向いて食べている状況。

議長 食事は健康のためには基本であり大変重要な部分だと考える。職場での食事の時も会話もなく良くないと感じている。

以上で議事を終了する。

## 5 その他

なし